

先日、12月22日に配信の<逆ラジオ通信 No.52W-211222>に<関西の大地震に注意>として載せたように、今月初め12月3日（金）に発生した、紀伊水道M5.4の地震で関西地方が広く揺れましたが、和歌山一Aのデータは12月18日ごろに再度急な減衰—収束傾向になり増減を繰り返してきて、本日12月27日にはほぼ収束状態になっています。

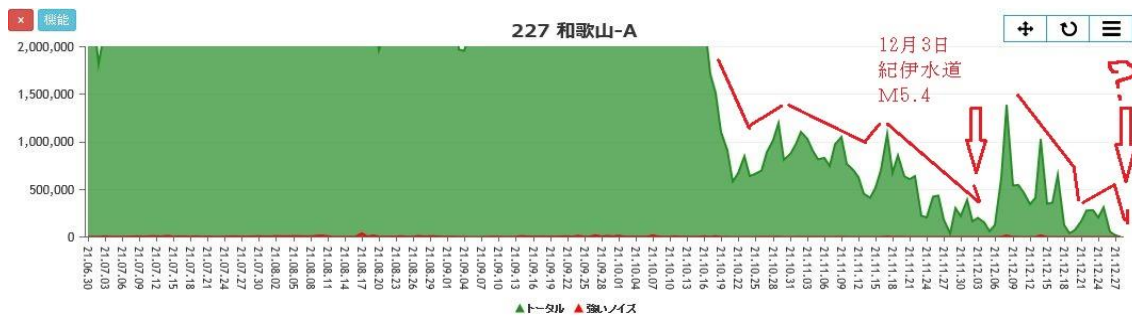
和歌山一Aについては過去1年間のデータから見て、12月3日の紀伊水道M5.4の地震でエネルギーを発散してしまった、という考えと、いや、M5.4では小さすぎる、という考えがありますが、データの総量から見て、後者の、エネルギーがまだ残っている、という可能性が高いと思われます。

周囲には 三重志摩の大きく多数の1本立ちや、伊勢D484, 浜北355なども大きなデータもあって結果が出ていないことから、再度、関西地区にM5クラス以上の大地震の可能性があると考えます。

和歌山一A 360日（日ごと）データ



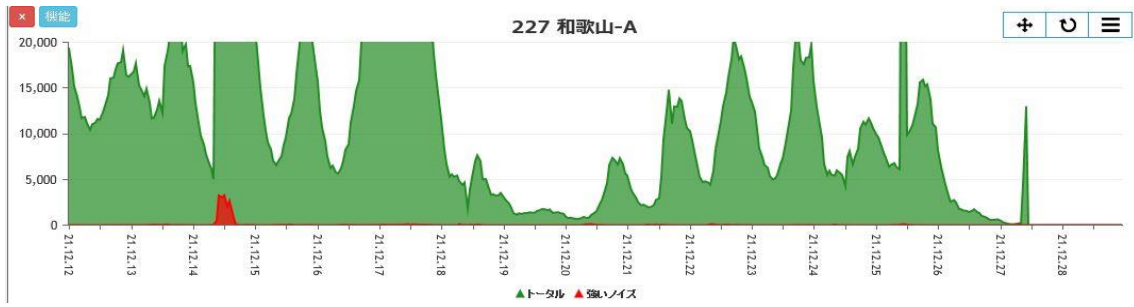
和歌山一A 180日（日ごと）データ



和歌山一A 60日データ



和歌山ーA 15日データ



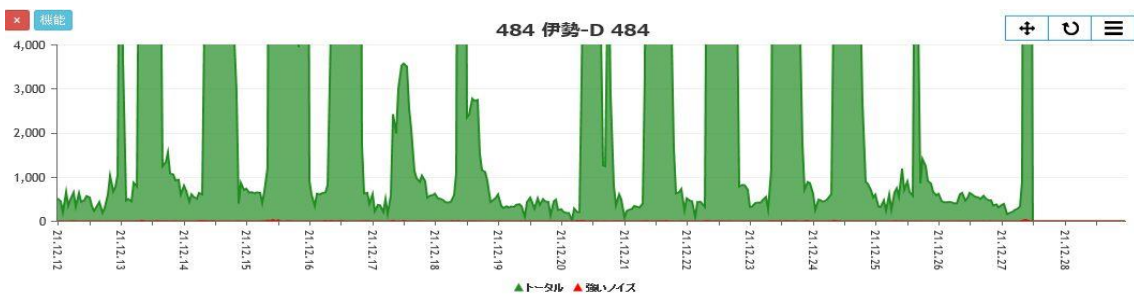
その他、浜北 355 60日間データ



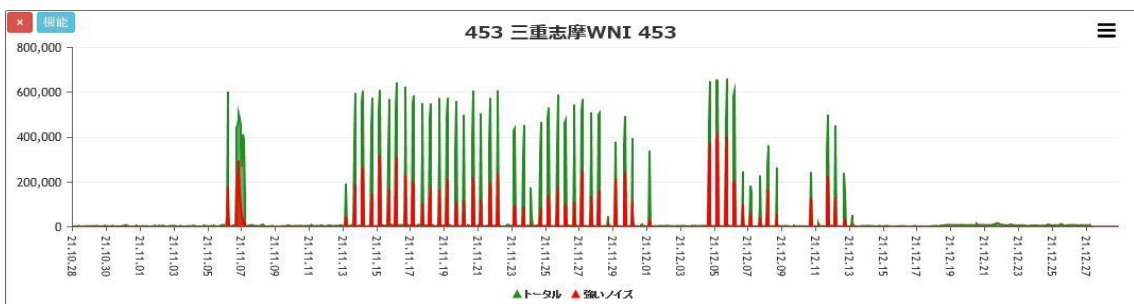
伊勢D 60日間データ



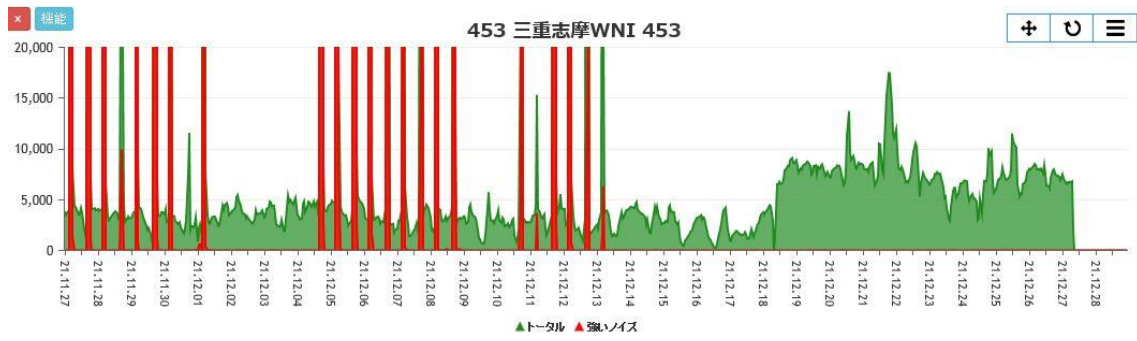
伊勢D 15日間データ



三重志摩 60日間データ



### 三重志摩 30 日間データ



### 京都 15 日間データ

